

取扱いの趣旨

有床義歯内面適合法は、義歯床の粘膜面を一層削除し、新たに義歯床の床裏装を行う治療であり、義歯の破損で当該治療を行うことは適切でないことから、「義歯ハソン」での算定は原則として認められない。

支払基金が公表している取扱いの全文

【歯冠修復及び欠損補綴】

《令和3年2月22日》

176 有床義歯内面適合法

○ 取扱い

原則として、「義歯ハソン」病名で、有床義歯内面適合法の算定を認めない。

○ 取扱いを定めた理由

有床義歯内面適合法は、義歯床の粘膜面を一層削除し、新たに義歯床の床裏装を行う治療であることから、義歯の破損で当該治療を行うことは適切でないと考えられる。

グラフの見方

検証不要(少数事例)

1 棒グラフ（該当レセプトの審査結果）

有床義歯内面適合法を算定している目視対象レセプト1万件当たり、条件（義歯ハソンに対して有床義歯内面適合法を算定）に該当するレセプト件数

2 折れ線グラフ

該当レセプトのうち、有床義歯内面適合法が
査定・返戻となった割合

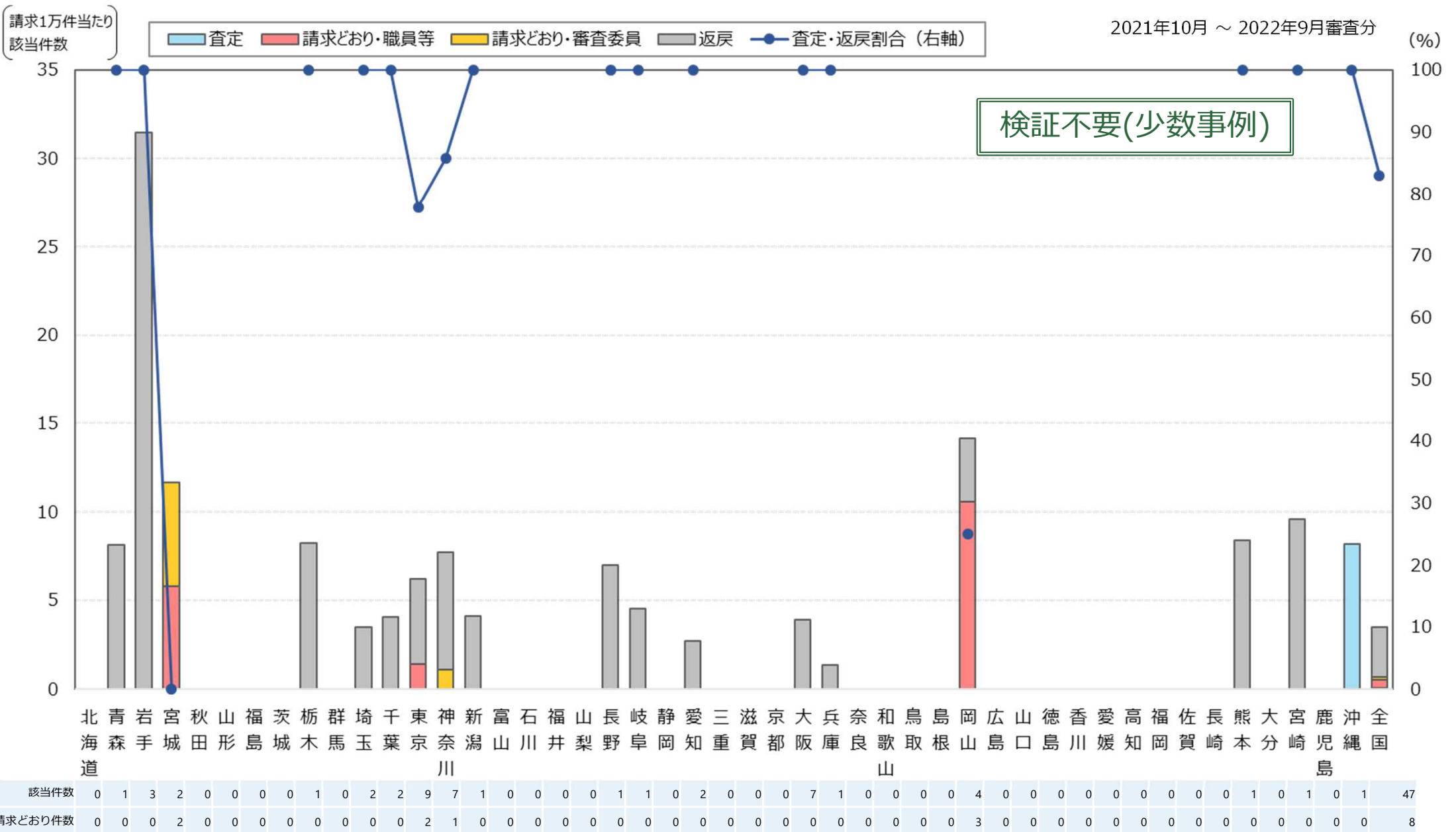
【棒グラフ凡例】 審査の結果

査定	返戻	: 取扱いどおり
請求どおり 職員等	請求どおり 審査委員	: 検証が必要

審査結果の概要

- 全国の査定・返戻割合 82.98%
- 検証を必要とする都道府県 0

検証観点	検証を要する都道府県	備考
査定・返戻割合が低い都道府県		査定・返戻割合の低い順
請求どおり・職員等		対象1万件当たり件数の多い順
請求どおり・審査委員		//
該当件数（全国）	義歯ハソンに対して有床義歯内面適合法を算定	47件
取扱いに基づく審査	査定・返戻の計	39件
検証を必要とする審査	請求どおり	8件



【該当件数】 義歯 Hanson に対して有床義歯内面適合法を算定しているレセプト件数